

(社) 栃木県サッカー協会事務局

〒320-0834 宇都宮市陽南2-12-19
TEL 028-684-6900 / FAX 028-684-3330
URL <http://www7.ocn.ne.jp/~tfa/>



contents

- ① 全国高等学校総合体育大会サッカー競技に参加して
- ② 選手権大会に挑んで
- ③ 高円宮杯第18回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 栃木県大会
- ④ クラブユース連盟より
- ⑤ 栃木SCジュニアユース全国大会ベスト8 関東大会 優勝
- ⑥ 第35回栃木県少年サッカー選手権大会
- ⑦ 富永選手がナショナルトレセン選出
- ⑧ 峰FCがフットサルで2年連続全国へ
- ⑨ 連盟設立のごあいさつ
- ⑩ 全日本選手権関東大会を開催
- ⑪ 高商(たかしょう)から高高(たかこう)へ
- ⑫ 4級審判登録更新期限迫る
- ⑬ 第7回全国シニア(O-60)関東予選
- ⑭ とちぎキッズプログラム
- ⑮ 社会人連盟表彰式
- ⑯ 貴志浩三前副会長を偲んで
- ⑰ ワールドカップへ人旅



栃木県サッカー協会 速報ページがついにOPEN!!

<http://www7.ocn.ne.jp/~tfa/news/>

PC・携帯電話どちらからでも閲覧可能です

全国高等学校総合体育大会 サッカー競技に参加して

真岡高等学校サッカー部
部長 室井和比古

平成18年8月1日から大阪府で開催されたインターハイは、まさに猛暑との戦いであった。連日、気温は35度を超え、会場のピッチの温度は1、2回戦では40度を超えていた。海に面し、日陰のないセレッソ大阪のグラウンドは、強い海風が唯一の涼しさを提供してくれていた。

大会に臨むにあたり、事前の調整をどのように行うかということで、スタッフで検討し、さらに選手の意見も採り入れ、宿舎も含めた環境面を総合的に判断して3日前から京都での調整を決定した。70名近くの全選手を連れての大移動であった。暑さに慣れるためには、京都は全ての面でうってつけの環境であった。府内の練習会場では、連日35度を超す暑さの中で細かい点を徹底的に確認する練習を繰り返した。そのような中で、水分の補給や、ドリンク類の補給方法などもシミュレートしながら、実戦により近づけた形で実施した。これが大会本番では大きな力となった。このことを、MFの佐藤は「全員で行動し、チームの一体感が心強かった。」と言っている。

京都での調整は、選手自身が自己管理をきちんと行い、食事をはじめとして、冷房の調整なども含めてコントロールし、体調を崩す選手が出なかったことも大会本番では大きな力となった。主将の吉田は「個人とチームの両方のコンディション調整の意識が高くなっていった。」と言っている。

1回戦の2日前に宿舎を大阪に移し、開会式等に臨むなかから、徐々に選手のモチベーションが上がっていった。ユニバーサルスタジアムジャパン(USJ)に近い試合会場を下見し、グラウンドコンディションや風の向きなども細かくチェックした。このこともエンドの関係など本番では大きなヒントになった。水が飲めないで、とにかく水と氷の確保と搬入方法、また、その量、さらに、日陰がないので、その対策などスタッフ打合せでは種々の検討をした。

8月2日。いよいよ1回戦の日がきた。大量の水と氷を積んで会場へと向かった。予想どおりの暑さと、海風であったが、選手には事前の下見から予想されたことであり何ら不安もなく、普段どおりの準備でゲームに臨んだ。17名の選手を支えるスタッフ、そして50名を越すバックアップ体制を整えた部員たちが猛暑の中で戦った。2-1。内容的には完勝することができた。さすがに終了後の選手の消耗度は激しく、DFの中心選手である中山は軽い熱中症で医師の手当を受けたほどだった。日頃、負傷や病気とはまったく無縁の選手でさえこのような状態であるから、いかに過酷な環境の中でのゲームであったかが想像可能かと思えます。

8月3日。2回戦も同じ会場で、同じグラウンドコンディションの中で戦った。前日にも増して、細心の注意を払い、選手のコンディションの管理に気を配った。結果として、徐々に相手チームの運動量が落ちていく

中で、我々は守備の意識を高く持ち続け、また、運動量もはるかに上回ることができ快心の勝利を収めることができた。GKの形部は「続けてきた走り込みが効いた。」と言っている。

8月4日。会場を万博記念競技場に移し、スタンドのある競技場でのゲームとなった。暑さは変わらないが、日陰を求めることができ、今までとは比べものにならないくらい良い環境であった。しかし、猛暑の中での連戦の疲労が残り、この日のゲームは動きが悪かった。というより、相手のチームの方が数段フィットネス面に優れ、終始、後手に回らざるを得ない展開であったが、勝負の神様は我々に味方してくれ、運良くPK戦で勝つことができた。FWの大貫は「大会をとおして運が良かった。」と言っている。

8月5日。休養日。へとへとに疲れた心身をどう回復させ、癒すかということで熟慮を重ね、生徒を近くの温泉浴場でリラクセスさせることにした。サウナやプールを利用したDFの中山は「気分転換ができたことで、新たにやる気が湧いてきた。」と言っている。

8月6日。会場を高槻市に移し、準々決勝を戦った。相変わらず暑いのが、大分適応してきており、自分たちのペースで戦えた。相変わらず守備の意識を高く持ち、後半、動きの落ちた相手から決定的なチャンスを得て勝つことができた。

主将の吉田は「チームコンセプトがしっかりしていた。」と言っている。ここまで勝ち上がるとは誰も予想していなかったもので、できれば次のゲームに勝ってプログラムに名前を残そうではないかということでミーティングを終えた。

(3位以上になれば、毎年のプログラムに校名が記載される。)

FWの大貫は「下馬評は低く、何のプレッシャーもなかったのが良かった。勝ち進むにつれて、サッカーの楽しさが増してきた。」と言っている。思いがけなく夢のベスト4になった。

8月7日。会場を長居競技場に移し、準決勝を戦った。夕方、5時からのゲームであるということと、スタンドから多くの観衆が見つめる中でのゲームであった。不慣れな環境であり選手たちは少し戸惑いをみせたものの、ゲームが始まると普段どおりのペースで展開ができた。後半、ほんの一瞬の隙をつかれ、決勝点を奪われた。内容的には互角であったが、勝負所での集中力と洗練された個人技は、残念ながら数段相手チームの方が上回っていた。

連戦に次ぐ連戦で選手はくたくたに疲れ切っており、慰める言葉もなかった。

しかし、スタンドで応援してくれた関係者の方々、保護者の方々、OBなどから「よく頑張った。」と励まされたときは、普段の顔に戻って、きちんとあいさつができ、スタッフ一同ホッとした。これで、6日間の長い長い戦いが終わった。

大会の優秀選手に、DFの中山、MFの吉田、FWの大貫の3名が選出された。

今大会では、前述のとおり、前評判などは高くなく、終始リラックスして戦えたことが幸いした。主将の吉田は「集中して臨めたことが。」DFの中山は「チャレンジャー精神で臨めたことが。」MFの佐藤は「チームが一丸となれたことが。」FWの大貫は「終始、自分た

ちのサッカーをしたことが。」と今回の大会を振り返っている。

全ての面で、より良い準備をした方が良い結果を得るのがスポーツの世界の鉄則である。そういう意味では、運が良かったことと併せて、選手、スタッフ、保護者、学校の取り組みが功を奏した結果であると改めて認識しています。また、ご声援いただいた県協会、高体連を初めとする関係者の皆様方のご支援のお陰であると深く感謝致しております。最後に、次年度からの県代表チームが今年度以上の成績を挙げることを期待して報告とさせていただきます。

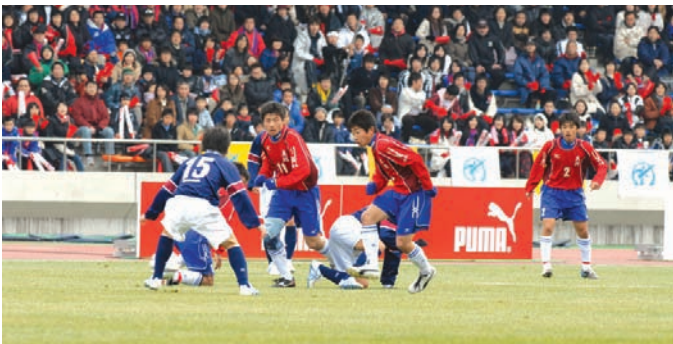
選手権大会に挑んで

真岡高等学校サッカー部
監督 菊地隆之

この大会に出場して得られた情報を栃木県内のサッカー関係者に伝えたい。どのようにしてゲームに臨んだのか、何を感じたかを原稿が許す限り書いていきたいと思う。昨年出場した以上に、非常に強いインパクトを得ることが出来た。

選手権大会に出場することは、高校サッカー選手にとって、最大の喜びである。この大会は、インターハイや関東大会とは違い、マスコミも大々的に取り上げ、華やかで夢のあるサッカー環境を用意してくれる。スタンドから大観衆の声援で鳥肌が立つ感動をもらってのゲームは、サッカーの醍醐味を十分味わわせてくれ、サッカーのすばらしさを体感させてくれるものである。

初戦の相手は、前回覇者の滋賀県代表：野洲高校に決まった。マスコミから最も注目され、セクシーフットボールと称して、今や一番トレンドなサッカーを展開していると評価も高く、特にU-21代表候補の乾というスパースターもいて、大変注目度の高いチームであった。



野洲高校を分析していくと、セゾンFCというジュニアユースに行き着いた。このチーム出身の選手が、昨年度の優勝を支えていたのだ。このチームの指導者が、岩谷氏で野洲高校のコーチとして入閣している。私の友人（関西方面）にも情報提供を頼むと、その岩谷氏の力を絶賛していた。選手育成においては、他の追従を許さない、プロフェッショナルな指導者ということであった。そのセゾンFC出身者からJリーグに進んだ選手は十数名を数えている。実に興味深いデータだ。

今年の真岡高校は、昨年からの県内7大会連続優勝を飾り、関東大会第3位・インターハイ第3位とめざましい活躍を見せていた。中心選手は、昨年から5名が残り、ゲーム経験を積み、経験知ではどんなチームと闘っても引けをとらない、タフなチームに仕上がっていた。私は、選手に、いつ、どんな場面でも、常にハードワークを要求し、自分のプレーに責任を持ち、チームのために何が出来るのかを選手たちに追求してきた。真岡の選手たちは、それに答えるだけのメンタリティーを兼ね備えていた。自分でもプレーヤーとして何百試合というキャリアを積んできた。ボランチということで、ゲームを読むという作業をし続けてきた。どのようなゲームでも相手のストロングポイント、ウィークポイントを読み取り、そこを突いていく発想が、指導者となっても生きていた。当然野洲に対しても、どのように闘うかの青写真はあったが、3-5-2システムのチームに対して、どのように真岡の4-4-2で闘うかを研究していった。一番悩んだのが、相手のストロングポイントを抑えるためには、どうするかであった。テーマとして、ボールを奪う位置をどこに設定するか。どのようにチームとしてプレスを掛けるか。奪ったボールをどのようにして展開していくべきか。得点を奪うためには、どこを突いていくべきか。これらが、選手・スタッフともに明確でないと、しっかりしたゲームは出来ない。野洲高校戦までに、栃木SC、鹿島学園、高志高校、青森山田高校との練習試合を積んで、確認していった。M-T-Mを実践しながらチームコンセプトを植え付けていった。同時に、チームマネジメントにも力を入れた。ケガをしないこと、病気になること。十分な練習を行うこと。選手・チームのコンディショニングである。今回は高倉トレーナーと細野看護師の協力の下、インフルエンザ予防接種を全員に実施し、ノロウイルス対策として、常に消毒液で殺菌してから食事をするを行った。また、12月29日に真岡を出発したが、最終の調整に良い練習環境が確保できたことも報告しておきたい。我々は、順天堂大学の吉村先生にお願いして、順天堂大学の人工芝のグラウンドをお借りし、照明もつけていただいていた十分なTR.を積むことが出来た。

人工芝のグラウンドのメリットは、パススピードの向上、1stタッチの精度の向上、プレーの連続性が増し、ワンタッチによるコンビネーションが格段に向上する。イレギュラーが無いので周囲を見ることが容易になり、広い視野を確保でき、良い判断が出来るようになる。やはり選手が良いイメージを持つためにも、技術向上のためにも、今や人工芝のグラウンドは必要不可欠とまでなっている。栃木にはまだ、1面しかないが、群馬県や茨城県では10面以上の人工芝のグラウンドを確保している現状にある。ちなみに野洲高校は、昨年10月下旬に人工芝のグラウンドが完成したそうである。

結局、野洲高校対策として、真岡のストロングポイントを前面に出すことを選択した。後ろに引くのではなく高い位置からのプレスとコンパクトな3ラインの形成、奪ったボールを両サイドのオープンスペースへ運び、速い仕掛けからのチャンスメイク、ボランチを起点にサイドチェンジなどをテーマに試合に入っていた。初対決のチーム、しかも初戦ということで、最も重要視したのが、開始15分での闘い方である。ゲームが落ち着くまでに時間がかかるが、この時間帯で

の失点は、後を考えると厳しいので、前半は1-0、もしくは0-0を想定していた。



試合当日、会場は、1万人の観衆でごった返し、大歓声がスタンドを覆っていた。真岡の応援団からの『歴史に名を刻め、おまえら』の連呼で、ボルテージは最高潮に達していた。真岡イレブン、試合開始と同時に、魂のプレーで野洲の選手たちを捉えにかかった。乾には、吉田がマッチアップし、ここでの勝敗がゲームの流れを作る形になったが、吉田の全身全霊でのプレーが、乾を上回り、真岡の優位の流れを作っていた。ねらい通りの形でボールを奪い、チャンスを演出するまで行くが、キックの精度や無駄なタッチで時間を掛けすぎて、チャンスを潰していった。また、予想以上に、野洲選手のスピードが速く、50mを6.1~6.2で走りきる選手が、揃っていた。中でも、乾が一番速く6.0のスピードの持ち主であったことを伝えておきたい。両サイドの攻防で、サイドバックとサイドハーフで挟み込むことをねらったが、そこでの体力消耗もあり、ボールを奪ってからの切り替え時に、ゆとりが無くなったこともあり、攻撃が単調になっていった。しかし、前半は、ピンチもあったが0-0で折り返すことが出来た。後半も前半同様ゲームに入っていたが、1プレーの重みを知ることになった。前線に送ったボールを真岡の2年の増漕が安易なプレーで失い、そのボールが乾に入る。吉田がそのボールを奪いに行き、ファールをもらい、そのFKを直接決められた。ゴールはすばらしいものであったが、どうしても、その1プレーには、納得がいかなかった。甘く、危機管理能力がない軽率なプレーであった。そこでしっかり起点を作れないことは、チームに大きなダメージを与えることを理解できていなかった。ピックゲームになればなるほど、1プレーの重みが勝敗を分けるということを理解していなかった。残念で仕方なかった。

やや押し込まれる場面が増えてきたが、そこをしっかりと耐えて、ラスト10分から真岡の渾身の力での総攻撃に入る。大貫が起点となりボールを散らし、シュートを放つ。ゴール前でのFKからチャンスを作る。右サイドからのクロスをボレーシュートがバーを叩く。ラスト1分では、一番の決定機である左から大貫の絶妙なクロスを2年の諸隈が右足で合わせるも、芯を捉えきれずGKに触られ、ポストに跳ね返る。それもシュートするもDFにブロックではじき返される。これも1プレーの重みである。動きながらボールの芯を捉える技術と、何があっても決めるという気迫に欠けた。絶

対に決めてやるという最大限の集中力を持ってあのシュートに臨めば絶対に決められたシュートであるし、絶対に決めなければならないシュートでもあった。ロスタイムには、GKまでも相手陣内に入り、シュートを放つも、タイムアップの笛が鳴り響いた。選手は、最後までしっかり闘い、真岡の闘い方は出来た。特に、3年生のがんぼりには頭が下がった。だが、選手・スタッフともに、どこが相手でも、どうボールを奪い、どう得点するかというチームコンセプトを確立して、大切にゲームに臨めば、しっかり闘えるという自信をつかむことが出来た。

我々スタッフは、このゲーム中、強いインパクトを受けていた。それは、野洲イレブンの技術の高さだった。1st タッチの精度、相手の逆をとるプレー、キックの技術、スピードを上げた中でもミスをしないうプレー、ドリブルで抜きにかかる能力は今まで闘ってきたチームで最高のチームであった。左右両方同様にプレーできる能力も兼ね備えていた。



これらの技術は、高校3年間のみで身に付くものではない。つまり、一貫してトレーニングして、選手が刺激を受けていかなければならない。野洲の選手たちは、地域のクラブチームでの技術トレーニングをしっかりと受けてきている。昨年優勝した選手たちは、セゾンFCの選手たちで、史上最強の選手たちだったそうである。その選手たちを指導してきた野洲コーチ岩谷氏の能力の高さを再確認した。



栃木県のサッカーをさらに輝かしいものにするためにも、ゴールデンエイジと呼ばれる中学年代での個人技術・個人戦術を徹底して鍛え抜いて、高校年代で実戦経験を積んでフィジカルをあげ、より完成の域に入っていくといった一貫した流れを確立していくことが重要なのではないかと感じた。高校年代で、より強い魅力的なサッカーを展開するには、今まで以上に中学年代の強化が、ポイントであると強く感じた。それが栃木のサッカーの飛躍につながるものと我々スタッフ陣は強く感じて会場を後にした

高円宮杯 第18回全日本ユース (U-15) サッカー選手権大会 栃木県大会

優勝 栃木SCジュニアユース



準優勝 VERDY SS小山



第3位 FC佐野ジュニアユース



第4位 宇都宮チェルトFC



【総評】

個々のレベルの高さを遺憾なく発揮した栃木SCが安定した戦いぶりで昨年に続き優勝しました。クラブ選手権、高円宮杯の2冠に輝いた栃木SCの選手達は自信を持ったプレーを維持し、風格すら感じられるチームでした。それを追う宇都宮チェルトFC、VERDY SS小山は毎年安定した力を保ち、クラブ選手権で存在感を現したFC佐野は見事3位となり、今後は足利ユナイテッドFCとともに栃木県南部地区の発展に期待されます。全体的に個々のスキルは確実にレベルアップしており、拮抗した試合も多くなってきました。

今大会より中体連のチームが4校参加し交流できたことは大変喜ばしい事でした。しかし今後この「高円宮杯」が全国的に中学年代(第3種)の最高峰の大会であるという事を考えると、グラウンド問題、コンディション・モチベーションの問題、学校行事との兼ね合い、大会時期(関東で1番早く大会が終了してしまう)など問題は山積みです。U-16(高校)にしっかりと引継いで行くためにも1つ1つ問題を解決し、改革して行くことが大切であると痛感しました。

第4回栃木県クラブユース連盟 ラストゴール杯 (U-15)

優勝 足利ユナイテッドFC
準優勝 VERDY SS小山 A
第3位 VERDY SS小山 B
第4位 ウーヴァSC

【総評】

3年間クラブユース連盟の選手として学校とクラブの両立を見事にこなした3年生にとって最後の大会。栃木SCが高円宮杯の関東大会と重なったため不参加でしたが、楽しい雰囲気の中、足利ユナイテッドFCが優勝しました。

クラブ選手権、高円宮杯と実力がありながら結果に結びつかなかった足利ユナイテッドFCが最後に意地を出しました。やはり、三田、望月、込山の3選手は全国レベルに達している選手だと感じます。栃木SCの全国大会出場や足利の選手などの飛躍、ほかにJクラブのユースに進む選手が着実に栃木県クラブユースからも育ってきました。天候の悪い中での開催でしたが、このような素晴らしい選手たちに今後より良い環境でサッカーさせられるよう私たちがもっと努力しなければいけないと感じました。3年生のこれからの活躍に期待しています。

優勝 足利ユナイテッドFC



第12回全日本ユース (U-15) フットサル大会関東大会

●参加チーム

栃木県第1代表 足利ユナイテッドFC
第2代表 FCスポーツ宇都宮

県大会では圧倒的な力で代表となった足利ユナイテッドFCは予選リーグで優勝候補と激突し惜しくも予選リーグ敗退となってしまいました。第2代表のFCスポーツ宇都宮は混戦の中、予選を突破、全国大会を目指し準決勝に臨みましたが、力及ばず残念ながら3位の結果となりました。

関東大会3位 FCスポーツ宇都宮



第4回栃木県クラブユース連盟 新人大会 (U-14)

優勝 FC佐野ジュニアユース



準優勝 VERDY SS小山



第3位 今市FCアルシオーネ



第4位 栃木SCジュニアユース



【総評】

FC佐野が決勝でVERDY SS小山を破り初優勝を飾りました。その影には高い守備能力がありました。攻撃でも丁寧なパス、スピードを生かしたトップの突破など非常にバランスのとれたチームでした。そしてまたFC佐野が優勝したことについては大きな意味があると思います。今まで、栃木SC、VERDY SS小山、宇都宮チェルトFCなど人数の多いチームや歴史のあるチームが上位を独占してきましたが、FC佐野のように少人数でも丁寧なチームづくりと個人の能力を十分生かしたチームが結果を出すようになってきたことは他のチームの手本となり、又自信にもなります。FC佐野だけでなく、FCスポーツ宇都宮、今市FCアルシオーネなども同様に栃木県クラブユースの全体的な力が向上してきた証ではないかと思えます。

【クラブユース連盟より】

◆ 2007年度クラブユース連盟主催の大会日程

- 1) 第22回日本クラブユース選手権大会 (U-15) 兼 第13回関東クラブジュニアユース選手権大会栃木県予選
競技日程 4月15日 (日) ~ 5月26日 (日)
- 2) 第5回栃木県クラブユースサッカー連盟交流大会 (U-13)
競技日程 6月23日 (土) ~ 7月7日 (日)
- 3) 第13回全日本ユース フットサル大会栃木大会 (U-15)
競技日程 8月4日 (土)・5日 (日)
- 4) 第9回栃木県クラブユース選手権大会 (坂田杯) 兼 高円宮全日本クラブユース選手権大会栃木県予選 (U-15)
競技日程 8月18日 (土) ~ 10月7日 (日)
- 5) 第5回栃木県クラブユースサッカー連盟 ラストゴール杯 (U-15)
競技日程 11月10日 (土) / 17日 (土)
- 6) 第5回栃木県クラブユースサッカー連盟新人大会 (U-14)
競技日程 10月20日 (日) ~ 12月15日 (日)
- 7) 関東クラブトレセン交流試合 (U-14)
競技日程 12月22日 (土) ~ 23日 (日)

※ 多少の日程変更がありますので御了承下さい。

◆ 県内のクラブユース連盟所属チーム一覧

(2006年度)



現在、クラブユース連盟は18チームのクラブチームで結成されています。U-15/U-18ともに、毎年新チームを募集しておりますので新規加盟希望チームの方は県サッカー協会HPの登録の欄をご参照下さい！



栃木SCジュニアユース全国大会ベスト8 関東大会 優勝

高円宮杯 第18回全日本ユース (U-15) サッカー選手権大会にて、栃木県代表の栃木SCジュニアユースが全国のJクラブを相手に素晴らしい成績を収めました。

●全国大会

【1次予選】(2勝1敗で1位通過)

| | | |
|-----------------|-----|---|
| ・名東クラブ(愛知県) | 0-4 | ○ |
| ・サンフレッチェびんご(広島) | 0-4 | ○ |
| ・VALENTIA(佐賀県) | 2-1 | × |

【決勝トーナメント】(ベスト8)

| | | |
|------------------|-----------|---|
| ・1回戦 ベガルタ仙台(宮城) | 1-1(延1-2) | ○ |
| ・2回戦 FC東京むさし(東京) | 3-0 | × |

●関東大会

【1次予選】(2勝1敗で2位通過)

| | | |
|---------------|-----|---|
| ・鹿島アントラーズ(茨城) | 1-6 | ○ |
| ・与野東中学校(埼玉) | 0-3 | ○ |
| ・FC東京深川(東京) | 4-1 | × |

【決勝トーナメント】(優勝)

| | | |
|----------------|-----------|---|
| ・1回戦 浦和レッズ(埼玉) | 0-2 | ○ |
| ・2回戦 FC前橋(群馬) | 2-2(延4-5) | ○ |
| ・決勝 柏ソレイユ(千葉) | 1-4 | ○ |

栃木県/関東地区第1代表 栃木SCジュニアユース



『高円宮杯を振り返って』

栃木SCジュニアユース監督 花輪浩之

『全国へ!!』これが選手、スタッフの今年度最大の目標でした。夏に行われた関東クラブユース選手権大会では、予選リーグを突破するも、決勝トーナメントでヴェルディジュニアユースと鹿島アントラーズジュニアユースに敗れ、全国大会に進むことはできませんでした。

しかし中学生最後にして最大の大会“高円宮杯”では、選手達は今までトレーニングしてきたことを十二分に発揮し、見違えるような成長を見せ、悲願の目標を達成してくれました。栃木県大会では、夏までとは違った安定した守備と、選手個々のそれぞれのストロングポイントがうまく噛み合い、苦しみながらも何とか優勝することができました。

そして全国大会よりもレベルが高いといわれる関東大会。ここで選手達は物凄い頑張りと力を見せてくれました。4チームで行われた予選リーグの初戦で、関東クラブユース選手権大会で0-2と敗れている鹿島アントラーズジュニアユースに対し6-1で勝利。続くFC東京深川には敗れましたが、関東中体連王者の与野東中に勝利し、2勝1敗の2位で決勝トーナメントに進むことができました。

そして“全国”の懸かった準々決勝の相手は昨年度日本一の浦和レッズジュニアユース。このとてつもないプレッシャーの中でも、選手達は名前負けせずに自分達の力を出しきり2-0で勝利し、悲願の全国大会出場を掴み取りました。準決勝、決勝は全国大会を勝ち取った勢いそのままに、FC前橋ジュニアユース、柏レイソルU-15に勝利し、幸運にも関東大会で初優勝することができました。

全国大会では厳しいグループに入りながらも、選手達が関東大会で優勝した自信と、あくまでも自分達はチャレンジャーだという気持ちを持ち続け、予選リーグを2勝1敗の1位の成績で決勝トーナメントに進むことができました。

決勝トーナメント1回戦の相手は、東北大会チャンピオンのベガルタ仙台ジュニアユース。ここでも選手達は最高のプレーと強い精神力を見せてくれました。延長通じて100分間の長く苦しい戦いの中で、二度追いつかれるも三度突き放し勝利した選手達を見て私は、「彼等と一緒にサッカーをできた喜びと、彼等は栃木の大きな財産だ!」と今まで以上に強く思いました。2日後の準々決勝FC東京U-15むさし戦は、選手達は持てる力を十二分に発揮してくれましたが、残念ながら敗れてしまいました。

準々決勝で敗れはしましたが、監督1年目の私についてきてくれて、こんな素晴らしい感動と経験をさせてくれた選手達には言いたい『ありがとう』と。

最後になりましたが、選手そして私達スタッフは、保護者、協会、連盟その他大勢の皆様の温かいご声援により、大変貴重な経験を積むことが出来ました。この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



第35回 栃木県少年サッカー選手権大会



平成18年10月15日、22日、29日、11月3日の4日間にわたって、大会が開催された。選手権の部には198チームが、ジュニアの部には64チームが出場し熱戦が繰り広げられた。

また、長年にわたって少年サッカーの発展に寄与された、大関達雄氏(元少年連盟理事長)、大手英之氏(前少年連盟理事長)、高瀬利明氏(現少年連盟理事長)の3氏が、日本サッカー協会より表彰された。



<大関達雄氏>



<大手英之氏>



<JFCファイターズ>

準決勝には、地区1位のシード3チームが進出した。

決勝では春の県大会を制したJFCファイターズが終始ゲームを優位に進めた



<大谷東アバンセ>

- 準決勝
大谷東vsリフレ
1-0
ファイターズvs氏家
5-0

- 決勝
ファイターズvs大谷東
2-0



<TEAMリフレ>

<大会成績>
選手権の部

- 優勝 JFCファイターズ
- 準優勝 大谷東FCアバンセ
- 3位 TEAMリフレ
- 々 FC氏家



<FC氏家>

- フェアプレー賞
SAKURA FC Jr
- 敢闘賞 緑が丘サッカー教室
- 努力賞 FCみらい
- 々 金太郎JFC



<TEAMリフレ>



<SAKURA FC Jr>

ジュニアの部

- ヤシオツツジトーナメント
優勝 JFCファイターズ
準優勝 OMF C
- ニホンカモシカトーナメント
優勝 SAKURA FC Jr
準優勝 FC朱雀
- オオルリトーナメント
1位 姿川第一FC
- トチノキトーナメント
1位 K-WEST2001

バーモントカップ第16回全日本 少年フットサル大会栃木県大会

11月11日・12日の2日間にわたって、全国大会への切符を目指して、接戦が展開された。

本大会には、各地区の予選を突破した32チームが参加し、金太郎ジュニアFCが栄冠を手にした。



<金太郎ジュニアFC>

<大会成績>

- 優勝 金太郎ジュニアFC
- 準優勝 BFC南赤塚FC
- 3位 昭和・戸祭SC
- 々 間東FCミラクルズ
- フェアプレー賞 FCみらい

第30回全日本少年サッカー大会 ～決勝大会 1次ラウンド～

JFCファイターズが、2年連続4度目の全日本大会に本県代表として出場し、熱戦を繰り広げた。

8月5日からの1次ラウンドは、6チームによるリーグ戦を行った。Fグループに入ったJFCファイターズは、柏レイソルに1-0と勝利しながら、得失点差により3位となり、結果、柏レイソルが1位で決勝トーナメントに進出した。

第28回利根コカ・コーラ杯争奪 東関東少年サッカー大会

平成18年8月27日に、茨城県ひたちなか市で東関東大会が開催された。本年度は、各地区の代表チームが好試合を展開し、輝かしい成績を上げることができた。

- 6年生の部 準優勝 芳賀トレセン
- 5年生の部 優勝 両毛トレセン
準優勝 下都賀トレセン
- 4年生の部 優勝 宇都宮JFC

第30回関東少年サッカー大会

平成18年8月11日から13日にかけて、山梨県甲府市の敷島総合公園運動場にて、関東少年サッカー大会が開催された。

第24回海外遠征～韓国～



＜ソウルワールドカップスタジアムにて＞

平成18年8月21日～24日の3泊4日の日程で、海外遠征が実施された。53名の選手が参加し、試合を通して韓国の選手と交流を図った。選手の感想の中から、韓国の文化や歴史など、多くのことを学ぶことができたようである。小学生時代の海外遠征は、いろいろな面で貴重な体験となってくるであろう。

栃木選抜A 1勝1分1敗 栃木選抜C 2勝1分
 栃木選抜B 2勝1敗 栃木選抜D 1勝1分1敗

第17回8地区選抜少年サッカー大会

＜前期＞ 7月22日

○5年生の部

Aリーグ

1位宇河 2位下都賀 3位芳賀 4位南那須

Bリーグ

1位上都賀 2位両毛 3位塩谷

《決勝》 宇河 7-0 上都賀

○6年生の部

Aリーグ

1位下都賀 2位上都賀 3位両毛 4位南那須

Bリーグ

1位芳賀 2位宇河 3位 塩谷

《決勝》 下都賀 1-1 (PK 4-5) 芳賀

＜後期＞ 11月5日

○5年生の部

Aリーグ

1位北那須 2位宇河 3位両毛 4位塩谷

Bリーグ

1位下都賀 2上都賀 3位芳賀 4位南那須

《決勝》 北那須 3-1 下都賀

○6年生の部

Aリーグ

1位宇河 2 芳賀 3位北那須 4位南那須

Bリーグ

1位下都賀 2上都賀 3位両毛 4位塩谷

《決勝》 宇河 2-0 下都賀

本県からは、日光JFC(1位代表)、SAKURAFc Jr(第2代表)、緑が丘SS(3位代表)の3チームが出場した。3チームによる1次リーグで、本県代表のは、残念ながらいずれも2敗を喫し、上位進出はならなかった。3位パートの中で、緑が丘SSは準優勝を飾った。

いずれのチームも、最後まで粘り強く試合に臨んでいた。他県の強豪チームとの試合を通して、いろいろ学んだことを、これから生かし、いっそう活躍してくれることを願いたい。

第24回 栃木県少年サッカー新人大会



＜FC西那須21アストロ＞

平成19年1月13日・14日・20日の3日間にわたって、新人戦が行われた。天候に恵まれ、参加した72チームは全力で戦った。



＜今市第三カルナヴァル＞

○決勝リーグ

今市三vsアストロ

0-1

国本 vs OMFC

0-1

今市三 vs 国本

3-0

アストロvsOMFC

2-0

今市三vs OMFC

3-1

アストロvs 国本

3-1

＜大会成績＞

優勝

FC西那須21アストロ

準優勝

今市第三カルナヴァル

3位 OMFC

4位 国本JSC

フェアプレー賞

国本JSC



＜OMFC＞



＜国本JSC＞

富永選手がナショナルトレセン選出

セレソン宇都宮SCのFW富永梨花選手(15)がこのほど、女子15歳以下のナショナルトレセンに選出され、昨年12月26-29日に福島県のJヴィレッジで行われた合宿に参加しました。富永選手にトレセンでの活動と、今後の抱負を語っていただきました。



昨年の秋に行われた関東トレセンでの1次、2次選考を通過して、ナショナルトレセン参加が決まりました。関東トレセンでは、自分の持ち味でもあるスピードを生かしたプレーが評価されたのだと思います。ナショナルトレセンに選出されたときは、学校の友人などから「頑張って」と

応援の言葉もかけてもらいました。

ナショナルトレセンでは、周囲の選手のレベルが高く、最初はメニューについていけないか不安でした。ゲームなどでは得点は決められませんでした。アシストもできたし、自分の力は出せたかなと思います。ただ体力や足元の技術など、自分にとって足りない部分も実感することができました。中学卒業後は、県外の女子サッカーの強豪高校に進学する予定です。さらに高いレベルでサッカーをして、1年生からレギュラーで試合に出られるように頑張りたいと思います。目標は女子日本代表です。目標を実現できるよう、これからもサッカーに打ち込んでいきたいです。

指導した徳田明義セレソン宇都宮SC監督の話「彼女はばねのあるキックが持ち味。守備面などはこれから学んでいくべきことは多いが、ぜひ今後も日本代表を目指し頑張ってもらいたい」

<プロフィール>とみなが・りか 大平南中3年。大平南小2年から小学校のチームでサッカーを始め、中学1年からはセレソン宇都宮SCでプレー。同チームでは15歳以下チームの主将を務める。

峰FCがフットサルで2年連続全国へ

ティファール・カップ2006第3回全日本女子フットサル選手権大会で、本県第1代表で関東大会へと進んだ峰FC・アマレーロが、関東大会準優勝という成績を挙げ2年連続2度目の本大会(11月/東京・駒沢体育館)へと出場しました。

栃木県大会は順当に勝ちあがり4年連続の関東大会への出場を決めました。ゲームでは集中力を切らさず、昨年に引き続き予選リーグを勝ち抜きベスト4に残りました。今年は関東の代表枠は3チーム。準決勝のうー魚(東京)戦が「山場」となりました。先制点は峰で、その後も得点を着実に重ね5-3、快勝とっていい内容で2年連続の全国大会出場を決めました。

前回よりも試合時間が長くなり、公式戦として成熟してきている全国大会では、激戦の関東地区を勝ち抜いた、峰FCらしいプレーがこの場所でも発揮できればよいと思い臨みました。予選第1試合、関西代表のエスペリオ京都戦。緊張からか、立ち上がりから重いゲームになってしまいましたが、試合が進むにつれ動きがよくなり、後半の3得点などで4-1、京都を突き放しまずは1勝。

予選第2試合は四国代表の南国高知戦。関東地区にはなかった相手の深い位置からのゲームメイクに戸惑いましたが、比較的安心していられるゲーム内容で5-4と勝利しました。

大会初日を連勝でスタートし、2日目も緊張したなかでゲームができることに確実に力をつけていることがわかりました。予選第3試合のベスト4をかけた試合は全国優勝があり、Lリーグのメンバーをそろえた大原学園(北信越)と対戦。マークのずれを見つけられ中盤からのミドルシュートを立て続けに決められて、流れを自分たちの方に引き



▲峰FC・アマレーロのメンバーたち

寄せられないまま1-4で敗れてしまい、決勝トーナメント進出はなりません。来年にむけては個人のレベルアップを図り、チームとしては全国優勝を目指していきたいと思います。(峰FC・アマレーロ主将 宮川亮子)

U-18トレセンリーグ始まる

関東地区を対象とする女子のトレセンリーグは、日本サッカー協会が力を入れる「トライアルFA制度」により2年前からU-15、U-12でリーグ戦が行われてきましたが、今季、新たにU-18のリーグ戦が立ち上がり、栃木トレセンも延べ2日間にわたり、他県のトレセンチームと試合を行いました。

本県では昨年4月から6回のトレセンを行い、高校の女子サッカー部の部員など県内のU-18の選手約60人から20人の選手を選びました。そして10、11月と千葉県などで他県のトレセンチームと対戦し、3戦3勝という結果を残しました。女子U-18の選抜チーム同士がしのぎを削る大会が、数年前になくなっていたので、他県のトレセンチームと交流が行えるこのリーグは、トレセンの意義を再確認できるものになりました。

来年度は本県が会場となり、このリーグが行われます。新チームは、今年のチーム以上に積極的にコミュニケーションをとれるチームにして、他見のトレセンチームに挑んでいきたいと思っています。(技術委員会U-18チーフコーチ 佐々木裕幸)

連盟設立のごあいさつ

日本サッカー協会フットサル部門の機構改革に伴い、昨年5月の栃木県サッカー協会総会において「栃木県フットサル連盟」が正式に発足いたしました。今後は、今季で4年目を迎えた栃木県フットサルリーグの運営を中心に、各種フットサル公式戦を運営していくことになります。

連盟発足にあたっては、加盟チームの中から約20人の理事を選出しました。また第1回栃木県フットサルリーグから参戦、現在も活動を続けている4チームの中から、理事長に桜井誠（FCブラジニア／芳賀）、副理事長に宮川進（峰FC／宇河）、古口利行（YUZUHA／塩谷）、事務局長に石塚雅一（三栄不動産／宇河）が就任しました。

現在の栃木県のフットサルレベルは、実力的に東京、千葉など大都市圏の諸地域に水を空けられた感は否めず、栃木のチームは各種大会でもなかなか「関東の壁」を突破できずにいます。連盟発足を機に、加盟チーム数の増加、県全体の競技力向上、フットサル専門審判員の育成などに力を注ぎ、少しでもその「差」を縮められるよう連盟として取り組んでいきたいと思ひます。

まだまだ加盟チーム数も活動実績も少ない当連盟ではありますが、栃木県サッカー協会の歴史ある各連盟、各委員会を見習いながら、地道に本県のフットサル振興にまい進していきたいと思ひます。ご支援、よろしくお願ひいたします。（理事長 桜井誠）

三栄不動産が関東リーグ二部へ

県リーグができて4年。みんなで一生懸命にリーグ運営をして来たこともあり、いろいろな人々にフットサルが覚えられてきました。またリーグ発足時に比べると、参戦チームのレベルも著しく高くなってきました。

第1回の県リーグは、サッカーと両立するチームも多く、プレーぶりを含めフットサル専門チームはほとんどありま



▲三栄不動産のメンバーたち

せんでした。しかし現在はフットサル専門チームも増えてきました。ライバルチームのレベルも上がり、三栄不動産にとっても、今季は特に落とせる試合がひとつも無く、気の抜けない一年でした。そこで優勝できた事は大きな自信になりました。何より、周りをサポートして下さったリー

グ運営委員の方々には感謝の一言です。

そして、今年は関東リーグ二部に参戦します。フットサル不毛の栃木県からの挑戦です。サッカーの男子国体は3年連続日本一になる県ですが、フットサルでは東京都などに5年くらいは遅れている状況です。今、栃木県ではフットサルが盛り上がりつつあります。そこに水をさすことの無いよう頑張りたいと思ひます。一步一步確実に成長していき、栃木県から全国レベルのチームが誕生する第一歩にしたいと思ひます。（三栄不動産監督 石塚雅一）

全日本選手権関東大会を開催

8年ぶりの栃木開催となった全日本選手権関東大会。本県代表として、12月16日、宇都宮市の清原体育館で峰FC・インファンチール、三栄不動産の2チームが関東の強豪に挑みました。両チームとも健闘及ばず、残念ながら初戦敗退となりましたが、栃木代表チームとして熱い試合を展開しました。

「和気あいあいでもプレーには妥協しない」をチームコンセプトに、私達は日々頑張っています。今季の県リー



▲峰FC・インファンチールのメンバーたち

グでは、一人一人のモチベーションが低かったため本意な結果に終わってしまいました。その後、チームで反省し、全日本選手権大会県予選までに何をやればいいのか、みんなで考え大会に臨みました。県予選ではチームの意識も高く優勝、栃木県第1代表として関東大会出場を決めました。

関東大会の地元開催で意気あがる私達は、初戦で山梨県代表のファンフ・シュペラーと対戦しました。前半は自分達のリズムが作れず相手に先制点を取られ、0-1で前半が終了しました。そこでハーフタイムでは経験豊かな監督を中心にゲーム分析をして後半に臨みました。後半はリズムが徐々によくなり、一時1-3とついた点差も、パワープレーなどが成功し同点に追いつくことができました。しかしその後のチャンスも疲れからか決定的なシュートを外して、PK戦の末、敗退してしまいました。

この試合は絶対に勝てないという差はありませんでした。ただその差は簡単に埋まるものではないとも思いました。その見えない差を埋めるためにフィジカル面や決定力、パスの精度を高めることを課題にステップアップをし、今大会の経験が無駄にしないよう頑張っていきたいと思ひます。

（峰FC・インファンチール主将 福島勇佑）

高商（たかしょう）から 高高（たかこう）へ

高根沢高校サッカー部
監督 大牧 稔

本校は、昭和25年矢板高校北高根沢分校として認可を受け、昭和42年に高根沢商業高校として商業科の学校として、これまで多くの卒業生を社会に送り出しました。しかし、県の学校改革により平成18年4月、普通科2クラス商業科3クラス計5クラスの高根沢高校として生まれ変わりました。本校は普通科においても商業科目の学習が可能な総合選択制の高校です。また、海外研修をはじめ多くの学校行事があり、「強く 明るく 聡く」の校訓にあった幅広い教育を目指しています。校章も「商」の文字から「ペン先」をモチーフにしたものになり伝統を引き継ぎながら新しい時代の学校へと進化しています。校内の施設等も充実しており視聴覚設備の整った160人以上収容のキャリア学習室などがあり指導者講習会などにも利用していただいています。サッカー場も夜間照明設備のあるフルコートが毎日専用で使えるすばらしい環境です。夜間も町の開放施設としてフルに稼働しています。

開校当時から活動しているサッカー部も現在少ない部員数ながら活動しています。先日もOBの方たちとの「初蹴り」を行い多くのOBから激励をいただいたところです。諸先輩方が汗を流したグラウンドで新しい歴史が刻めるよう今後も精進していきたいと思っています。ありがとうございました。



高根沢商業高校の校章



高根沢高校の校章

平成18年度北部地区新人大会

予選リーグ：12月9日～10日
決勝トーナメント：12月14日・16日

優勝：大田原高等学校
準優勝：矢板東高等学校
第3位：那須清峰高等学校
矢板高等学校

平成18年度中部地区新人大会

予選リーグ：11月12日・18日・19日・
23日・25日
決勝トーナメント：12月11日・18日

優勝：文星芸大附属高等学校
準優勝：真岡高等学校
第3位：宇都宮東高等学校

平成18年度南部地区新人大会

予選リーグ：12月3日・9日
決勝トーナメント：12月10日・16日

優勝：小山南高等学校
準優勝：佐野日本大学高等学校
第3位：小山高等学校
白鷗大学足利高等学校

平成18年度高等学校新人大会

1月14日・20日・21日・27日・
2月3日・4日

優勝：真岡高等学校
準優勝：佐野日本大学高等学校
第3位：宇都宮短期大学附属高等学校
矢板中央高等学校
第5位：宇都宮高等学校
小山高等学校
宇都宮南高等学校
文星芸大附属高等学校

4級審判登録更新期限迫る

申し込み方法は日本協会のホームページより入力してください。[\(http://www.jfa.or.jp/\)](http://www.jfa.or.jp/)
今後の更新会場は以下の通りです。

3月10日(土) 受付9:00～ 講習9:30～
真岡市公民館
3月11日(日) 受付9:30～ 講習10:00～
足利市民会館別館
3月15日(木) 受付19:00～ 講習19:30～
宇都宮文化会館小ホール
3月17日(土) 受付9:00～ 講習9:30～
真岡市公民館
3月18日(日) 受付19:00～ 講習19:30～
宇都宮文化会館小ホール

第7回全国シニア（0-60）関東予選

今年度から来年行われる第7回全国シニア（60歳以上）サッカー大会の関東予選が開催された。今までの全国大会は各県自由参加でしたが、今年度から関東で2チームとなり、今年度は推薦の2チームが参加したが関東予選をやった方がよいのではないかと関東シニア委員会でまとめ、その第1回大会が11月25日（土）・26日（日）に千葉県市原市スポレクパークでおこなわれ。

栃木代表は栃木大昭サッカークラブが参加したが結果は次のとおりとなって、残念ながら全国出場はならなかった。

Bグループ

- ① 栃木大昭SC 0-0 茨城シニア
 - ② 栃木大昭SC 0-0 千葉四十雀
 - ③ 栃木大昭SC 0-0 東京シニア
- ※4チームリーグ戦 第3位

なお、この大会の中で65歳以上のロイヤル大会も開催され4チームが参加したが結果は4位でした。



【栃木大昭〇緑と東京シニアの戦い】

プレ関東シニア（0-50）サッカー大会

来年度から関東シニア委員会で開催する関東大会のプレ大会が12月3日（日）に埼玉県熊谷市の熊谷スポーツ文化公園で行われ下都賀シニアが参加した。

結果は次のとおりでブロック1位であった。

【1組】

- 1回戦
下都賀シニア 2-1 本庄アパックス

2回戦

下都賀シニア 4-0 LAZOS KOGA
結果は1組優勝であった。

プレ関東シニア（0-40）サッカー大会

プレ関東シニア（0-50）に続いて（0-40）の大会が12月10日（日）に東京都駒沢公園第二球技場他で行われ下都賀シニアが参加した。

結果は次のとおりでブロック1位であった。

【1組】

- 1回戦
下都賀シニア 1-2 千葉四十雀
 - 2回戦
下都賀シニア 0-6 LAZOS KOGA
- 結果は1組4位であった。

【シニアの協会登録について】

シニア年代（40歳以上）のチームも協会登録をして、関東大会・全国大会を目指して登録しませんか。大会は40歳代・50歳代・60歳代の大会があります。

〔シニア委員長 福田 治〕



平成18年度はJFAキッズプログラムサポートFAの選定を受け、本県での取り組みを「とちぎキッズプログラム」として展開いたしました。平成19年度も引き続き取り組みますので、ご協力お願いいたします。詳細は後日ホームページに、掲載します。

【19年度の主な活動予定】

- ・キッズリーダー養成講習会開催
- ・U-6・8・10ハンドブック、ベストサポーター配布
- ・各地区巡回指導の実施
- ・親子クリニックの開催
- ・JFAキッズサッカーフェスティバルの開催
(U-6) 6月3日(日) 9月1日(土)
11月17日(土)
(U-8) 11月24日(土)

社会人連盟表彰式

社会人連盟 理事 大塚光明

社会人連盟の表彰式が1月13日に宇都宮市のホテル東日本宇都宮にて行なわれた。今年がリーグ40周年ということもあり、森山眞弓（社）栃木県サッカー協会会長、門馬信意（株）下野新聞社事業局長様、牛久保勇 全国社会人サッカー連盟理事長様、新井賢太郎（株）栃木サッカークラブ社長様をはじめ多数の来賓もお見えになり、総勢153名の参加となった。また、今年から参加者全員にネームプレートをつけてチーム名と名前がわかるようになったことで参加者たちの意見交換も活発に行なわれ、とても有意義な表彰式となった。



栃木県サッカー協会表彰者のみなさん

埼玉・栃木社会人サッカー連盟リーグ選抜交流試合

社会人連盟 理事 土屋 誠

12月17日に埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場にて第4回社会人サッカー連盟リーグ選抜交流試合が行なわれた。この会場は2004年埼玉国体のメイン会場栃木県にはない立派な施設での試合となった。今年こそは栃木県に優勝カップを持ち帰るという意気込みで、選抜チームで練習試合をして望んだが結果は2部選抜が0-1、1部選抜は2-4と屈辱の連敗。

しかし、今年は選手の交流だけでなく審判員の交流も図るため、どちらの試合も栃木県の審判員が主審を担当し、副審・第4審判員が埼玉県で担当した。関東大会クラスになる

と当然のことになるが県リーグでしかやっていない審判員にとってはとても新鮮で、お互いいろいろと勉強させられることもあった。来年こそは優勝カップを渡さないようにしたいと思いました。



審判交流をした関谷審判員(左から2人目)

役員・専門委員研修会に参加して

社会人連盟 和気 剛

日頃は連盟の活動になかなか参加できず、塩谷地区としては役員の皆様に迷惑をかけてばかりだったが、今回の研修会は地元の塩谷地区で宿泊研修ということもあり、久しぶりに参加させてもらいました。昼間は、鬼怒川運動公園で社会人連盟役員選抜チームと塩谷地区選抜で交流試合を行ないました。お互い交代選手のいないギリギリの人数でしたが、けが人もなくとても楽しむことができました。その後は、かんぼの宿栃木喜連川温泉に会場を移し、研修会を行ないましたが、時間を大幅にオーバーして自慢のお風呂に入る時間もないまま懇親会へ。。。今回の研修会を通じて、あらためて社会人連盟の楽しさと結束の強さに感心させられました。



試合前の集合写真

貴志浩三前副会長を偲んで

(社) 栃木県サッカー協会
副会長 石崎忠利

栃木県サッカー協会前副会長であり、元宇都宮大学学長の貴志浩三先生は昨年11月頃から体調を崩され闘病生活を送っておられましたが、懸命な治療にも関わらず、平成19年1月11日、76歳でご逝去されました。

貴志先生は宇大工学部長5期10年、宇大2期6年をはじめとして数々の要職を歴任されるなど、宇大の発展には並々ならぬ情熱を注がれました。私などは同じ大学に勤務していても雲の上の存在の先生でしたが、20年前のある会議で御一緒した時、学生時代にサッカーをやっていたことやサッカーに関心を持っていることなどを知って、それ以降、急激に身近な存在となり、いろいろとお話をするようになり、随分とお世話になりました。

とくに栃木サッカークラブでは7年間、後援会長としてクラブ役員をまとめ、支えてくださり、今日のJリーグ準加盟についての基礎固めをして頂きました。クラブの近況報告や多くの難題についてのご相談で何度もご自宅にお伺いしましたが、お忙しいのに「まだ大丈夫、まだ大丈夫」と多くの時間を割いて、親身になって相談に乗って頂き、いつも恐縮しておりました。また帰りがけにいつも話されていたのは、「栃木県はもっと頑張らなくちゃ。他に負けちゃダメだ。元気をださなきゃ」ということでした。

継続審議になっていた栃木サッカークラブのJリーグ準加盟の最終ヒアリングは、1月10日でした。私達は暮れから新年にかけて申請書類の準備作業に追われておりましたが、提出後、先生の所にご報告しようと思い、暮れにお電話をしました。その時、奥様から体調があまり良くないということをお聞きし、体調が回復してからお伺いするという事になっていました。あの時、ご報告にお伺いしていればと非常に後悔をしております。同時に、試合にお見えになられた時、グリーンスタジアムの階段を巨体を揺すりながら上り下りしていた、お元気な頃の貴志先生を思い出しております。

「栃木県にJリーグを」ということに対して、非常にご理解を頂き、いろいろとご指導、ご支援を頂いたことに感謝しつつ、先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

CHQミーティングに参加して

(社) 栃木県サッカー協会
社会人連盟理事長 鈴木 勇

国体関東ブロック大会が終わった直後の8月21日、宇都宮チサンホテルにてJFAのCHQ(キャプテン・ヘッドクォーターズ)が行なっている47都道府県訪問会議が行なわれた。JFAからは田中道博JFA事務局長、鈴木徳昭CHQ部長、五香純典氏が出席され、栃木県サッカー協会は石崎副会長、吉江専務理事をはじめ14名で約2時間JFAよりヒアリングと県協会の2002年以降の成果と課題について議論を行なった。

会議の時間が予定よりオーバーしてしまっただが、全体的にはCHQからの説明の時間が長く、またこのような場所に不慣れなためか緊張してあまり多くの発言や質問が出なかったが、出席者は自分なりにCHQの目指す方向を理解しようと努力していた。

その後は場所を変えて懇親会となり、お酒が入ったせいもあるが談笑する場面も見受けられ、ひとまず県協会としての活動が少しでも理解してもらえたと思われる。これからも県内にとどまらず、日本協会を含め広く、栃木県のサッカーをアピールしていきたい。



真剣に討論をする鈴木CHQ部長(中央)と県協会役員

栃木SC Jリーグ準加盟承認

栃木SCのJリーグ準加盟が2月20日のJリーグ理事会にて満場一致で承認された。

これにより3月から開催される第9回日本フットボールリーグで4位以内の成績を収めれば、県内初、念願のJリーグチームの誕生となる。

今後の栃木SCの活躍に期待する。

ワールドカップ一人旅

(社) 栃木県サッカー協会
顧問 吉澤茂弘

○ 夢叶う

抽選にもれ、あきらめていたところ、県協会の方々のご配慮により、日本対オーストラリアと日本対クロアチア戦を見ることができました。小学校の頃からドイツに憧れ、高校生の時には、写真で見たドイツサッカー選手のストッキング折り返し部分の縦縞模様に着かれ、ねだってチームに採り入れてもらいました。学生の時、ドイツチームの初来日となったオフエンバッハ・キッカーズと、全日本との対戦を神宮競技場(現国立競技場)で見ました。黒のユニホームをまとった選手の幾何学模様の流れるようなパスにショックを覚えました。結果は9-0の大敗でした。昭和56年僅か10ヶ月間でしたが、研究のため、ドイツのほぼ真ん中にある大学都市マールブルクで過ごしました。その間、地元40歳代チームでプレーし、リーグ戦形式であちこちの町をまわり、多くの友達ができました。また、一人旅の好きな私は、アイゼナッハ・ワイマール・イェナ・ドレスデン・ライプツィヒ・ベルリンなどの諸都市を巡る東ドイツの旅を3回ほどしました。サッカー場は殆んど見られず、共産国の貧しさ・惨めさを目のあたりにして、イデオロギー・政治の恐ろしさも実感しました。その後、10数回にわたりドイツを訪れましたが、ドイツへの思いは募るばかりで、ましてやドイツでのワールドカップ、その場にわが身をひたすことができたのは、この上ない喜びであり、まさに夢が叶ったというものです。

○ 期間・行程

期間は6月7日~21日で、予定通り次のような行程を辿ることができました。

1. ドイツの古豪FCシャルケ04発祥の地ゲルゼンキルヒェン(Gelsenkirchen)
2. ヨーロッパ最古のユダヤ人墓地のあるボルムス(Worms)
3. 日本第1戦の地カイザースラウテルン(Kaiserslautern)
4. 幼稚園教育発祥の地バートブランケンブルク(Badblankenburg)
5. アディダスとプーマ発祥の町ヘルツォーゲンアウラッハ(Herzogenaurach)
6. 日本第2戦の地ニュールンベルク(Nürnberg)
7. 第2の故郷? マールブルク(Marburg)

ゲームについては皆さんがテレビ観戦により分析済みのこと、また紙面の関係もあるため、主に1と2について、旅の参考になると思われる事柄も含めて述べたいと思います。

○ FCシャルケ04のホーム、ゲルゼンキルヒェンへ

時差ボケの軽減と、航空運賃の安さからタイ航空を利用し、6月8日早朝6時にフランクフルト空港着。早速ドイツ鉄道(DB)の窓口でスケジュールを示し、15日間のうち8日間、好きな日に乗れる普通乗車券を購入しました。DBでは急行券なしで特急に乗れるのです。日本とは大違いですネ。駅員の方も丁寧に対応してくれました。特急でガルゼンキルヒェン駅へ。この都市は、ルール工業地帯にあり、ポーランドやドイツ東部から移住してきた炭鉱労働者の町シャルケを中心として拡大・発展してきました。今でも、地下100メートルから石炭を運び出すコンベヤータワー別名ツォルフライン(Zollverein, 写真1)が整然と保存されています。当地で買った528ページの「シャルケ百年史」には、このタワーの周りで、暗闇の坑道から無事に戻れた

喜びをかみしめながら、ボールを蹴っている労働者の写真が掲載されています。炭鉱の出入り口で先ず交わす言葉が「グリュックアウフ」‘Glückauf!’で、それは「無事(Glück)に上に(アウフ=auf)戻ろうヨ」、「上に戻れてよかったナー」という意味で今も使われています。また選手も「クナップ」

‘Knappe’(炭鉱夫)という愛称で呼ばれています。FCシャルケ04は、1904年にこうした炭鉱労働者により創設され、ナチスドイツ時代(1933~1945年)には、6回ドイツ選手権獲得し、主役選手はエルンスト・クッツォラとフリッツ・セパンの二人で、当時の代表選手でもあり、FCカイザースラウテルンの1954年第5回ワールドカップ優勝の主将フリッツ・ヴァルターと並ぶドイツサッカーの英雄です。会場となったシャルケ04のホーム、「アリーナ・アウフシャルケ」‘ARENA AUF SCHAALKE’には、警備の都合上、残念ながら入れず遠くからの写真撮影だけでした。帰り道に旧スタジアム、「キャンプバーン・グリュックアウフ」‘KAMPFBÄHN GLÜCKAUF’に立ち寄りしました。正門入り口の前には、クッツォラを称えた記念碑があり、すぐ左手には選手と地元サポーターの交流の場となっているピヤホール「シャルケ04」があります。そこでビールを飲みましたが、酔うほどに、嬉々としてボールを追いかけている炭鉱労働者に思いを馳せ、ついに仲間入りしたのでした…。

○ シュパイアー経由カイザースラウテルンへ、再度の親切にめぐりあう

川辺の木々を鮮やかに移しながら、ゆったりと流れるルール川の畔にあるユースホテルを後にして、日本第1戦の地カイザースラウテルンへ出発。予定外でしたが、時間があつたのでユダヤ人ゆかりの町シュパイアー(Speyer)に寄りました。駅前でドイツ人親子に道をたずねたところ、その父親は息子に町を案内するように命じたのです。その少年は10歳のメルト(Mert Eskici)君(写真2)、大聖堂・ユダヤ博物館そして美しい町並みを短時間のうちに案内してくれました。カイザースラウテルンの一駅手前の駅ホッホシュパイアーに夕刻着。無人駅で、駅前には数軒の民家があるだけ。ホテルへ行くべく思案にくれて、ある民家の前に立っていたところクラクションの音。私はその婦人の家の車庫前に立って邪魔していたのです。車庫入れが終わってから、道をたずねると、登り坂歩きで30分とのこと。気の毒に思ったのでしょうか、直ぐに車を出して、笑顔で送ってくれました。本当に有り難いことです。近づくとか大勢のしゃべり声。見るとオーストラリア人で、近づく私に手を振ってくれました。ユースホテルには参加国の国旗が飾られており、およそ100人のオーストラリア人に混じって2泊しましたがしたが、同行のレポーターからゲームに関するインタビューを受けるなど、楽しい交流の時間を過ごしました。

○ ヨーロッパ最古のユダヤ人墓地があるヴォルムスへ

第1戦終了後直ちにヴォルムスへ。大聖堂の目の前にある優雅な建物のユースホテル着。早速近くのイタリアレストランへ入ると応援の日本人が数人。同席していたJTBの添乗員の話では、カイザースラウテルン市だけでは収容しきれず、周辺の町のホテルに割り振らざるを得なかったとのことでした。話は一転しますが、カールスルーエFVで活躍していたユダヤ人ユリウス・ヒルシュは、1912年の第5回オリンピック(開催地ストックホルム)にサッカーのドイツ代表選手として出場しながらも、1945年にアウシュヴィッツで殺害されてしまったのです。このことは、1997年になってようやく明らかにされたのですが、そのことは、ユダヤ人に対するナチスドイツの迫害とドイツサッカー協会(DFB)の対応に関して、少なからず私の興味を喚起したのです。こうしたわけで、特にユダヤ人に縁のあるヴォルムス

に来たわけですが。ライン川にそって、ローマ時代からユダヤ人が住みついた町としてストラスブル・カールスルーエ・シュパイヤー・ヴォルムス・マインツ・ケルンなどがあり、その典型的な町が、先に述べたシュパイヤーと、そしてこのヴォルムスです。町のあちこちにローマ時代の城壁の名残が見られます。ユダヤ人墓地は町の南西部にあり、墓石が時の重みに沈み行く様子(写真3)が窺われます。19世紀後半からの碑文にはドイツ語で故人の遺徳が刻まれていました。ユダヤ人居住地は北部城壁に沿っており、真ん中の狭い道路を挟んで3階建ての質素な家が並んでいます。窓にはドイツ国旗が揺らいでいました。小さな店に入って、食事をしながら店の人と話をしましたが、ユダヤのことはついで切り出せませんでした。

○ドイツの宿泊は安く美味しいユースホステルで

第2戦のクロアチア戦が行われるフランケンスタディオン(写真4)があるニュルンベルクへの途中、幼稚園教育発祥の地パートブランケンブルクを訪れ、幼児教育の祖の名に因んだフレーベル(Fr?bel)博物館を見学しました。もちろんユースホステル泊、上り坂を歩くこと30分。丘の中腹にあってチューリンゲン地方の柔らかな丘とそれに囲まれた町の風景が一望できます。空気も澄んでいて美味しかったこと。ユースホステル発祥の国ドイツだけに、施設はいつでも充実しており、朝食はドイツのご飯ともいえるべき独特のパン(プレートヒェン、Br?tchen)、ハム・チーズ・サラミ、それに果物・野菜等食べ放題で、昼食も自分で作って持っていてもよいのです。2泊でなんと僅か25ユーロ(3500円ほど)でした。

○最後に一言、日本代表について

オーストラリア戦では、体格もさることながら、いわゆるフィジカルで敗れました。後半坪井選手の負傷退場の頃から動きがガクンと落ち、トップの長身選手に合わせて放り込んでくるボールに耐えきれず、こぼれ球を立て続けに決められてしまいました。駒を残したまま終わったのはもったいないと思いました。クロアチア戦でも共通点が見受けられました。私の学生の頃は、外国チームに歯が立たなかったのです。今日こうしてワールドカップ出場を果たすまでに至った選手の皆さんに心の底から敬意を表します。ご苦労様でした。



写真2.シュパイヤーの町を案内してくれた10歳の少年メルト君

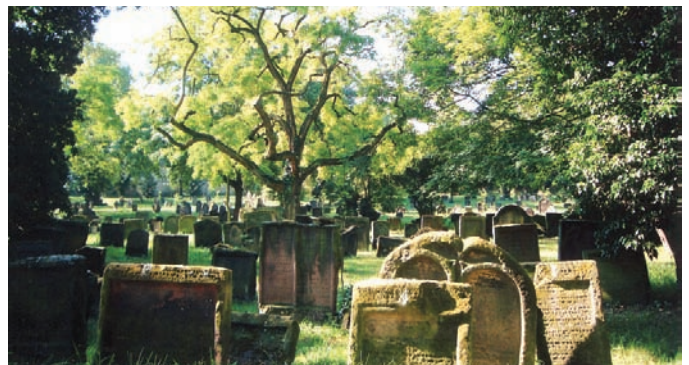


写真3.ヴォルムスにあるヨーロッパ最古のユダヤ人墓地



写真4.日本代表第2戦が行われたニュルンベルクのフランケンシュタディオン(Frankenstadion)にて、GK川口選手のスーパーセービングに感激。



写真1.古豪FCシャルケ04のホームタウン、ゲルゼンキルヒェンに残る炭鉱施設の一つ、石炭コンベヤータワー。

| | | | |
|---|--|---|--|
| Deutsches Jugendherbergswerk Landesverband Thüringen e. V. | | JUGENDHERBERG am Knecht 1 97422 Bad Homburg Tel. 03621 20 20 | |
| Gastbuchnummer Nr. 09609 | | Muster-Nr. | |
| Name: Shigehiro Yoshizawa | | Muster-Nr. | |
| Str. No. 41, 42, 43 | | Muster-Nr. | |
| PLZ: 04155, 04156, 04157, 04158, 04159 | | Muster-Nr. | |
| Aufenthaltszeit von 14.06.06 bis 16.06.06 | | Muster-Nr. | |
| Kategorie | | Preis | |
| 1. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 2. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 3. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 4. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 5. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 6. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 7. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 8. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 9. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 10. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 11. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 12. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 13. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 14. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 15. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 16. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 17. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 18. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 19. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 20. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 21. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 22. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 23. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 24. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 25. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 26. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 27. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 28. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 29. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 30. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 31. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 32. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 33. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 34. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 35. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 36. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 37. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 38. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 39. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 40. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 41. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 42. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 43. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 44. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 45. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 46. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 47. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 48. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 49. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 50. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 51. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 52. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 53. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 54. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 55. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 56. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 57. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 58. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 59. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 60. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 61. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 62. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 63. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 64. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 65. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 66. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 67. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 68. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 69. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 70. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 71. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 72. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 73. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 74. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 75. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 76. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 77. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 78. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 79. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 80. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 81. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 82. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 83. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 84. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 85. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 86. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 87. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 88. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 89. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 90. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 91. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 92. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 93. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 94. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 95. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 96. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 97. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 98. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 99. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 100. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 101. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 102. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 103. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 104. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 105. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 106. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 107. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 108. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 109. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 110. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 111. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 112. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 113. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 114. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 115. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 116. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 117. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 118. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 119. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 120. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 121. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 122. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 123. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 124. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 125. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 126. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 127. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 128. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 129. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 130. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 131. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 132. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 133. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 134. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 135. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 136. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 137. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 138. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 139. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 140. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 141. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 142. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 143. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 144. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 145. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 146. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 147. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 148. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 149. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 150. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 151. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 152. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 153. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 154. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 155. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 156. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 157. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 158. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 159. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 160. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 161. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 162. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 163. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 164. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 165. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 166. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 167. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 168. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 169. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 170. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 171. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 172. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 173. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 174. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 175. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 176. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 177. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 178. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 179. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 180. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 181. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 182. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 183. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 184. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 185. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 186. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 187. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 188. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 189. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 190. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 191. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 192. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 193. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 194. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 195. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 196. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 197. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 198. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 199. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 200. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 201. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 202. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 203. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 204. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 205. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 206. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 207. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 208. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 209. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 210. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 211. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 212. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 213. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 214. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 215. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 216. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 217. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 218. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 219. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 220. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 221. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 222. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 223. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 224. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 225. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 226. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 227. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 228. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 229. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 230. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 231. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 232. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 233. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 234. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 235. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 236. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 237. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 238. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 239. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 240. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 241. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 242. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 243. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 244. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 245. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 246. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 247. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 248. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 249. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 250. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 251. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 252. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 253. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 254. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 255. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 256. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 257. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 258. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 259. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 260. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 261. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 262. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 263. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 264. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 265. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 266. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 267. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 268. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 269. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 270. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 271. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 272. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 273. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 274. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 275. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 276. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 277. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 278. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 279. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 280. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 281. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 282. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 283. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 284. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 285. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 286. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 287. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 288. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 289. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 290. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 291. Tag 2,- | | 3,30 | |
| 292. Tag 2,- | | 3,3 | |

平成18年度 (社)栃木県サッカー協会賛助会員御芳名 (敬称略)

中條康雄
 円印刷(株)
 奥澤直人
 加藤一男
 星野善明
 宇都宮北高等学校サッカー部OB会
 鹿沼フットボールクラブOB会
 FCクイーンズ後援会
 君島建築(有)
 FCスポーツ宇都宮
 添野一雄
 白鷺大学サッカー部
 楠瀬直木
 沢邊 彰
 竹石秀夫
 小池一規
 今市ジュニオール
 水戸隆行
 栃木信用金庫
 佐田繁理
 花王株式会社
 揚茜クラブ
 矢崎部品(株)栃木工場サッカークラブ
 手塚貴子
 阿久津好夫
 落東アスリート
 (有)トータルヘルスクリエイト
 真岡中学校サッカー部保護者協力会
 大島秀樹
 秋澤留美
 早瀬一男
 尾澤洋一
 益子芳星高等学校サッカー部保護者会
 三島FC
 河内SCジュベニール
 安達賢二
 栃木SCジュニアユース
 栃木SCジュニア
 須長正彦
 宇都宮清陵高等学校サッカー部保護者会
 御厨FC
 フカヤスポーツ
 古澤和行
 YFC21後援会
 共英FC保護者会
 宇都宮商業高等学校サッカー部後援会
 田口八重子
 南河内サッカースポーツ少年団

斉藤良次
 宇都宮東高等学校サッカー部親の会
 みしば はるき
 岩舟JFC保護者会
 矢板中学校サッカー部保護者会
 片原正郎
 大沢JFC
 (株)タカサゴ
 真岡SCアーギア父母の会
 三森文徳
 岡田善朗
 滝の原サッカーOB会
 佐野日大高校サッカー部保護者会
 真岡高等学校
 東那須野サッカースポーツ少年団
 FC西那須野21槻沢
 間々田FCがむしやら後援会
 O1FC青葉親の会
 (有)スポーツショップヤマトヤ
 FCあわのレジェンド
 大橋政夫
 日立栃木ウーヴァスポーツクラブ後援会
 真岡パープルレディース
 小野寺勝己
 芳賀中学校保護者会
 (有)あおきスポーツ
 國井世津子
 鹿沼東光FC後援会
 J BUS宇都宮サッカークラブ
 ジェフユナイテッド市原・千葉・宇都宮スクール
 今市第三カルナヴァル
 宇都宮大学OB会
 大金 弘
 FCスピリット
 国本サッカークラブ後援会
 西原FC
 永山正明
 FC西那須野21アストロ保護者会
 KSC鹿沼
 矢板中央高等学校サッカー部保護者会
 やしお観光バス(株)

オフィシャルサプライヤー
ミズノ株式会社

< 編集後記 >

1月26日、栃木県にプロバスケットボールチーム設立を目指す「ドリームチームエンターテインメント栃木」(DTE栃木)の山谷拓志氏とお会いする機会があり、宇都宮市内のレストランで会食を行なった。山谷氏は肩書きや経歴にとらわれることなくとても気さくな方で初対面とは思えないほど打ち解けるのに時間がかかりませんでした。同じ栃木にプロチームを作る仲間として、今後お互いに発展してよい関係を築いていけたらと思いました。(川端)